



奥 陽治
(40分)
公明党

南海トラフ地震への対応は

問 津波ハザードマップと地震防災マップの見直しは。

答 現在、国の被害想定に基づき、県において再評価が行われており、今年10月に公表される予定である。これを踏まえ、本市でも見直しを行い、交流館や小中学校に掲示する。津波ハザードマップ

については、浸水想定区域の学区や地区への全戸配布を考えている。

上下水道インフラ整備は

問 老朽化対策は。

答 施設の重要度や被害発生時の影響度、不具合発生確率を踏まえたリスク評価により、点検、調査の優先順位を定め、計画的かつ効率的に実施している。また、老朽化対策を重要課題として位置付け、より精度の高い維持管理に努めるとともに、緊急度に応じた改築、更新に取り組んでいく。



山谷 久美子
(50分)
公明党

ネウボラ推進は

問 ①周産期グリーンフケアの取り組み状況は。
②*こどもアドボカシーの普及啓発の考えは。

答 ①昨年度から相談窓口や支援制度、同じ経験をした方が寄り添い支援を行う自助グループなどの情報をリーフレットにまとめ、

産科医療機関や市民課の窓口で直接お渡しするとともにホームページにも掲載している。
②こども自身が声を上げてよい、大人に聞いてもらえるという安心感を持てるよう取り組みを浸透させていく必要がある。これまで実施してきた研修を、福祉部門や教育部門等の職員にも拡大し、継続的に受講することで資質の向上に努める。また、広報紙の活用や学校との連携により、一層の周知啓発に取り組む。
*その他、保育士確保等について質問をしました。



野村 志津江
(50分)
公明党

(仮称) まちづくり支援拠点施設と(仮称)子ども未来館の配置は

問 安全面での配慮は。

答 この一帯を健康、スポーツ、レジャー、防災、交流、教育、福祉など多様な機能が備わる全世代交流型の新たなエリアとして、エフピコアリーナと未来館、まちづ



佐久 間裕徳
(45分)
公明党

障がい者支援は

問 就労継続支援B型事業所の工賃向上のための支援は。

答 障がい者就労施設の物品や役務の受注を促進するため、市独自に調達方針を定め、優先発注を行っている。今後も、受注業務拡大のための機器の導入支援等も行いながら、安定した収入を得られ

くり支援拠点施設をつなぐブリッジを整備し、安全で快適な歩行空間を提供するほか、利用者が安全に行き来できる最適な動線等を考慮して配置を決定した。

福山駅前広場再編事業は

問 市民対話集会の開催は。

答 若者や女性、高齢者など多くの方に参加いただきたいと考えている。形式については、フォーラムやワークショップなどを検討している。いただいた意見は改めて広場協議会で議論を行う。

教育行政は

問 不登校児童生徒への支援拡充は。

答 今年度新たに3校、校内フリースクールに常駐する支援員を配置する。7月を目途にメタバースによる支援を開始する。8月からは新たに設置するネウボラセンターへ相談員を配置し、相談をワンストップで受ける。



※こどもアドボカシー：こどもが意見や考えを表明できるようにサポートすること。